

品目別レポート（焼酎）

■品目説明

焼酎は、製造方式により連続式蒸留焼酎（旧甲類）と単式蒸留焼酎（旧乙類）に区分されている。このほか、旧甲類と旧乙類をブレンドした甲乙混和焼酎が生産されている。

連続式蒸留焼酎とは、連続式蒸留機で蒸留された焼酎でアルコール度数が36%未満のものを指す。一般には、「ホワイトリカー」として知られている。果実酒、カクテルに利用されるケースが多い。

単式蒸留焼酎とは、1.穀類またはいも類、これらのこうじおよび水を原料として発酵させたアルコール含有物、2.穀類のこうじおよび水を原料として発酵させたアルコール含有物、3.清酒かすおよび水、もしくは清酒かす、米、米こうじおよび水を原料として発酵させたアルコール含有物または清酒かす、4.砂糖（政令で定めるものに限る）、米こうじおよび水を原料として発酵させたアルコール含有物、5.穀類またはいも類、これらのこうじ、水および政令で定める物品を原料として発酵させたアルコール含有物、6.上記以外の酒類を「単式蒸留機」で蒸留したもので、アルコール度数が45%以下のものを指す。一般には、「本格焼酎」「泡盛」などとして知られている。

甲乙混和焼酎とは、連続式蒸留焼酎と単式蒸留焼酎をブレンドさせた商品である。旧乙類の本格焼酎との表示区分が混同していたことから、業界が自主基準を05年1月1日から定め、「連続式・単式蒸留式焼酎混和」または「焼酎甲類乙類混和」と表示されている。ただし、含まれる単式蒸留焼酎の割合が5%以下の場合には、「連続式蒸留焼酎」と表示することができる。

▼表1 日本の清酒、焼酎の供給

| （単位：kℓ、%） | | | | |
|-----------|---------|---------|---------|--------|
| | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 前年度比 |
| 清酒合計 | 487,331 | 457,042 | 414,196 | △ 9.4 |
| 国産 | 487,302 | 456,975 | 414,142 | △ 9.4 |
| 輸入 | 29 | 67 | 54 | △ 19.4 |
| 焼酎合計 | 807,280 | 777,847 | 731,866 | △ 5.9 |
| 国産計 | 765,996 | 739,909 | 700,299 | △ 5.4 |
| 連続式蒸留焼酎 | 330,276 | 316,445 | 294,682 | △ 6.9 |
| 単式蒸留焼酎 | 435,720 | 423,464 | 405,618 | △ 4.2 |
| 輸入計 | 41,284 | 37,938 | 31,567 | △ 16.8 |
| 連続式蒸留焼酎 | 40,928 | 37,703 | 31,339 | △ 16.9 |
| 単式蒸留焼酎 | 356 | 235 | 228 | △ 3.0 |

（注）1.年度は4～3月。

2. 2020年度は速報値。

3.数値は、国税局の課税移出数量を「国産」、税関の課税数量を「輸入」とした。

（出所）国税庁「酒税課税状況表」

15年10月の国税庁による「地理的表示に関する表示基準」の改正により、現在蒸留酒では壱岐、球磨、琉球、薩摩の4種類が指定されている。

20年度の焼酎(連続式と単式の合計)の酒税課税数量(国産)は前年度比5.4%減の70万299キロリットルとなり、前年度に続いて減少となった。

■貿易概況

▼表2：日本の焼酎輸出

(単位：ドル、キロリットル、%)

| | 2018年 | | 2019年 | | 2020年 | | 前年比 | |
|-----|------------|-------|------------|-------|------------|-------|--------|--------|
| | 金額 | 数量 | 金額 | 数量 | 金額 | 数量 | 金額 | 数量 |
| 中国 | 4,328,797 | 741 | 4,828,778 | 799 | 3,313,095 | 587 | △ 31.4 | △ 26.5 |
| 米国 | 3,558,558 | 530 | 3,507,333 | 496 | 2,679,101 | 393 | △ 23.6 | △ 20.7 |
| 香港 | 724,370 | 111 | 650,599 | 119 | 819,373 | 124 | 25.9 | 4.3 |
| 韓国 | 770,297 | 176 | 745,502 | 166 | 679,120 | 141 | △ 8.9 | △ 15.3 |
| 台湾 | 661,488 | 116 | 633,742 | 112 | 631,679 | 133 | △ 0.3 | 18.6 |
| 全世界 | 13,854,875 | 2,195 | 14,295,988 | 2,242 | 11,291,335 | 1,797 | △ 21.0 | △ 19.8 |

注：対象はHSコード 2208.90-100

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

20年の焼酎の輸出額は前年比21.0%減の1,129万ドル、輸出量は同19.8%減の1,797キロリットルとなった。主要相手国別にみると、1位の中国への輸出額は、前年比31.4%減の331万ドル、数量は同26.5%減の587キロリットルとなった。2位の米国は同23.6%減の267万ドル、3位の香港は25.9%増の81万ドルとなった。焼酎は米国のほかには主にアジアへ輸出されている。

日本では、焼酎は「糖質が少ない」「プリン体がない」、また「二日酔いをしない」というイメージから、健康を気にする消費者の間で焼酎ブームも起こったが、国内の消費量には限界がある。それゆえ、海外での販路開拓が大きな課題となっているが、日本産焼酎・泡盛の海外での知名度は、清酒に比べて低く、また安価な韓国産に比べると価格競争力も弱い。各生産地では、醸造所を観光客に公開する酒蔵ツーリズムを行うなど、国内外の観光客に対し、焼酎の魅力をアピールしている。

■海外事情

●中国

焼酎は中国の統計では「その他蒸留酒」に含まれる。20年の「その他蒸留酒」の輸入額は前年比5.7%減の2,384万ドル、輸入量は同12.5%減の9,750キロリットルであった。

輸入相手国上位をみると、金額、数量ともに1位が韓国で、輸入額が1,009万ドル(前年比0.9%増)、輸入量は7,219キロリットル(同1.2%減)であった。2位が日本で、866万ドル(同4.0%増)、輸入量は1,298キロリットル(同2.4%減)であった。金額では、韓国が全体の41.9%、日本が36.3%を占め、両国合計で78.3%のシェアとなった。数量では、韓国が74.0%と圧倒的なシェアを誇り、2位の日本(シェア13.3%)を大きく引き離している。続いて、英国(3位)が輸入額88万ドル(同2.0%減)、輸入量が102キロリットル(同53.6%増)であった。

▼表3：中国の焼酎等（その他蒸留酒）の輸入

(単位：ドル、キロリットル、%)

| | 2018年 | | 2019年 | | 2020年 | | 前年比 | |
|------|------------|--------|------------|--------|------------|-------|--------|--------|
| | 金額 | 数量 | 金額 | 数量 | 金額 | 数量 | 金額 | 数量 |
| 韓国 | 10,478,486 | 7,649 | 10,002,453 | 7,305 | 10,094,365 | 7,219 | 0.9 | △ 1.2 |
| 日本 | 5,977,670 | 1,058 | 8,329,944 | 1,330 | 8,664,004 | 1,298 | 4.0 | △ 2.4 |
| 英国 | 389,134 | 15 | 898,757 | 67 | 881,211 | 102 | △ 2.0 | 53.6 |
| スペイン | 318,219 | 79 | 477,850 | 130 | 641,886 | 198 | 34.3 | 51.9 |
| ドイツ | 168,401 | 42 | 917,621 | 347 | 630,017 | 59 | △ 31.3 | △ 83.0 |
| 全世界 | 21,288,639 | 10,167 | 25,287,045 | 11,145 | 23,840,283 | 9,750 | △ 5.7 | △ 12.5 |

注：対象はHSコード 2208.90-90

注：その他蒸留酒は、焼酎、泡盛、白酒、茅台酒、アラク、テキーラ等を含む。

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

ジェットロによる現地市場価格調査（2020年4月）によれば、上海の現地系店舗における『黒霧島』ブランド芋焼酎720ミリリットルは、98人民元（約1,575円）、韓国産LOTTE焼酎360ミリリットルは、14.8人民元（約237円）であった。

●米国

米国ではスピリッツの市場規模が年々拡大しており、ホワイトスピリッツ（ウオッカ、ジン、焼酎など）は市場全体の約3割を占めるが、内訳の多くはウオッカとなっている。ウイスキーやウオッカ、テキーラといったスピリッツが売り上げを伸ばしている米国市場において、同じスピリッツである焼酎にも需要拡大の可能性はあるが、焼酎については過去10年大きな変化は見られていない。一方で、ユーロモニターのレポートによると、米国のバーや小売店ではウオッカに代わる新しいスピリッツが求められている。また、スピリッツ消費者の間では、価格が高く、ストーリー性のあるプレミアム商品が好まれていることもあり、これまでのような「ブランド」ではなく、産地や小さなメーカーのこだわりの商品が求められているようだ。

20年の輸入額は前年比41.2%増の27億5,125万ドル、数量は同20.7%増の22万PFキロリットルとなった。主要相手国別にみると、1位はメキシコで前年比44.6%増の26億2,514万ドルとなった。テキーラやメスカルとみられる。2位はフランスで同10.3%増の2,949万ドル、3位はカナダで178.3%増の1,839万ドル。日本は9位で30.6%減の346万ドルだった。

▼表4：米国の焼酎を含む蒸留酒の輸入

(単位：ドル、PFキロリットル、%)

| 国・地域名 | 2018年 | | 2019年 | | 2020年 | | 前年比 | |
|---------|---------------|---------|---------------|---------|---------------|---------|----------|----------|
| | 金額 | 数量 | 金額 | 数量 | 金額 | 数量 | 金額 | 数量 |
| メキシコ | 1,495,458,762 | 148,501 | 1,815,051,384 | 166,345 | 2,625,149,639 | 204,352 | 44.6 | 22.8 |
| フランス | 25,479,355 | 2,291 | 26,727,987 | 2,007 | 29,493,565 | 2,053 | 10.3 | 2.2 |
| カナダ | 3,610,280 | 1,418 | 6,611,340 | 5,101 | 18,399,617 | 4,295 | 178.3 | △ 15.8 |
| 韓国 | 14,741,018 | 2,684 | 16,554,111 | 2,908 | 17,542,260 | 3,013 | 6.0 | 3.6 |
| アイルランド | 35,756 | 3 | 47,265 | 3 | 13,532,177 | 1,768 | 28,530.4 | 67,379.0 |
| 日本 (9位) | 4,206,488 | 276 | 4,989,114 | 340 | 3,460,359 | 242 | △30.6 | △28.7 |
| 全世界 | 1,628,674,754 | 161,244 | 1,949,016,957 | 185,375 | 2,751,250,083 | 223,683 | 41.2 | 20.7 |

注：対象はHS 2208.90 2208〔エチルアルコール（変性させていないもので、アルコール分が80%未満に限る）および蒸留酒、リキュールその他のアルコール飲料〕のうち「その他のもの」で、焼酎はここに分類される。

注：その他蒸留酒は、焼酎、泡盛、白酒、茅台酒、アラク、テキーラ等を含む。

注：PFKL=プルーフKL（アルコール含有量での量）

出所：Global Trade Atlas（IHS Markit）より作成

ジェットロによる現地市場価格調査（2020年4月）によれば、ニューヨークのアップーミドル向け現地系店舗における麦焼酎『いいちこ』750ミリリットルは19.99ドル（約2,199円）、サンフランシスコのローワーミドル向け現地系店舗におけるカリフォルニア産焼酎750ミリリットルが42.99ドル（約4,731円）であった。

本レポートに関する問い合わせ先：
日本貿易振興機構（ジェトロ）
農林水産・食品部 農林水産・食品課

〒107-6006
東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル
TEL：03-3582-5186

【免責条項】

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心がけておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益を被る自体が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。